

「空港における地震・津波に対応する避難計画・早期復旧計画 ひな型」の概要

～ 検討の経緯 ～

- 空港の地震・津波対策については、これまで、「地震に強い空港のあり方(平成18年)」、「空港の津波対策の方針(平成23年)」「空港の津波早期復旧計画の方針(平成25年)」を策定。
- 今般、「南海トラフ地震等広域的災害を想定した空港施設の災害対策のあり方とりまとめ(平成26年)」を踏まえ、平成27年10月に「空港における地震津波に対応する避難計画・早期復旧計画検討委員会」(委員長: 日本大学 轟朝幸教授)を設置し、高知空港をモデルとして、「**空港における地震・津波に対応する避難計画・早期復旧計画のひな型**」を策定。
- 平成28年度以降、全国の空港において、地震・津波に対応する避難計画・早期復旧計画を順次策定予定。



委員会開催状況

第1編 総則

【計画策定の目的】

空港は、大規模な災害時にその機能を早期に確保することにより、救急救命活動や緊急物資・人員等の輸送拠点等として重要な役割を果たすとともに、航空ネットワークの維持により、国内及び空港の背後圏における経済活動の継続性を確保することが重要である。

本計画は、地震・津波発生時の避難、早期の空港機能復旧のための具体的な手順・対策等を定め、その円滑・確実な遂行を図ることを目的とするものである。

【その他の記載事項】

- 本計画の使い方・見直し
- 用語の解説
- 計画の位置付け(例示)
- 時系列毎の活動項目と役割分担の整理イメージ(①避難 ②早期復旧) (図2)

第2編 共通事項

1. 被害想定

【地震・津波の諸元】

- ・ あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波の発生を考慮し、計画の対象とする地震を設定

【地震・津波による空港施設等への影響】

- ・ 空港の最大浸水深、津波到達時間を整理
- ・ 地震・津波による空港施設の被害想定を整理(図1)
- ・ 空港へのアクセス施設、ライフライン施設等の被害想定及び空港機能への影響を評価

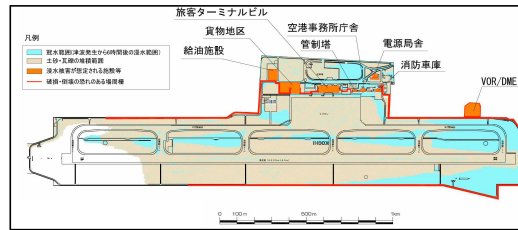


図1 空港施設の津波による被災想定整理(例)

2. 地震発生直後の対応

【初動体制】

- ・ 現地対策本部の設置・運営
- ・ 関係機関との連絡体制
- ・ 現地対策本部における必要資機材の備蓄
- ・ 運用時間外における空港の運用

【上記以外の記載項目】

- 身の安全の確保
- 地震・津波情報の入手
- 災害情報の発信
- 被害状況の把握
- 災害情報の報告

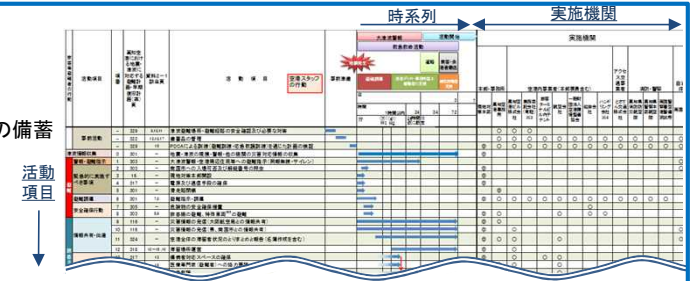


図2 地震・津波発生後の時系列活動項目と関係者の役割分担(避難・早期復旧)

第3編 地震災害への対応 / 第4編 地震・津波災害への対応

(第3編と第4編の構成は基本的に同じ。以下には、「第4編 地震・津波災害への対応」について記載)

第1章 避難計画

【避難計画の対象者】

- ・ 旅客・来港者、空港スタッフ、航空機に搭乗している乗客・乗員、近隣地区住民

【津波避難場所】

- ・ 避難対象者数に基づく必要面積、耐震・耐津波性能、津波浸水深を考慮した必要高さ、特定天井の有無等
- ・ 特殊車両の避難場所

【滞留者の安全確保・情報伝達】

- ・ 滞留者の基礎情報の把握
- ・ 滞留スペースの確保・滞留場所の運営
- ・ 情報提供
- ・ 災害時要配慮者(高齢者、外国人等)、傷病者、女性への配慮
- ・ 主要備蓄の確保
- ・ 空港機能の早期復旧のため、滞留者の搬送(搬送先、搬送手順等)(図3)等

【上記以外の記載項目】

- 津波避難計画の発動基準
- 避難の実施手順(各種避難対象者別)
- 避難経路
- 避難時の体制(各主体の役割分担、連絡体制等)
- 避難後の体制(各主体の役割分担等)
- 避難体制の強化に向けた取組の継続(事前周知/広報活動、計画の更新・見直し(PDCA))

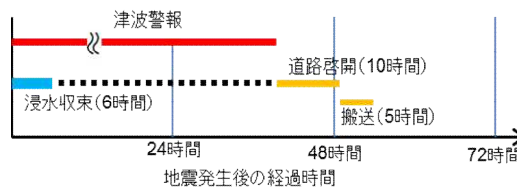


図3 滞留時間の概念図(例)

第2章 早期復旧計画

【復旧計画】

- ・ 復旧目標
- ・ 段階的復旧目標の対象及び復旧計画(図4)
- ・ 復旧作業の着手時期

【早期復旧体制】

- ・ 早期復旧に係る現地対策本部の体制
- ・ 被害状況の把握
- ・ 関係機関との連絡・調整
- ・ 応援体制の確立 等

【早期復旧対策】

- ・ 復旧範囲及び規模の設定
- ・ 早期復旧対策の検討
- ・ 構内道路の復旧
- ・ 制限区域内における復旧対策
- ・ 資機材の調達・搬入計画
- ・ 施設点検及び安全性の確認
- ・ セキュリティエリアの確保
- ・ 電力・燃料の確保計画
- ・ 地上支援車両の確保計画

【上記以外の記載項目】

- 行動計画
- 教育訓練等(教育訓練等、計画の更新・見直し(PDCA))

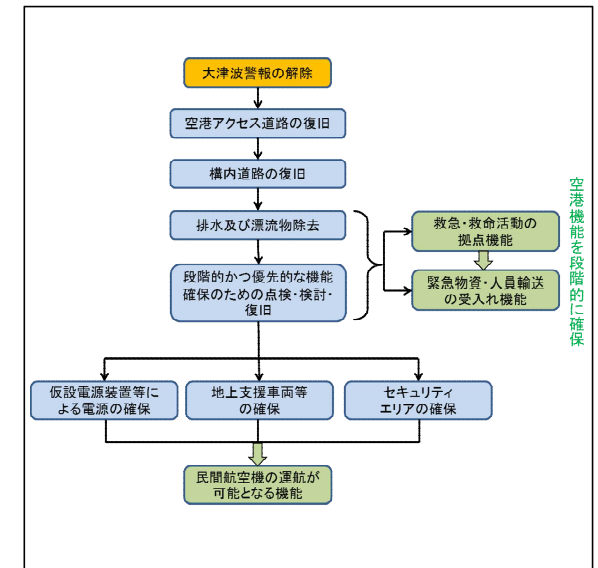


図4 復旧作業の基本的な流れ